

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。

今回、私達のために お話をしていたたき、ありがとうございます。

雄宇也くんのお母さんの話を聞いて、人間ひとりひとりの命の大切さがよく分かりました。毎日楽しく 生きるのは、当たり前ではないと改めて 知ることができました。自分の家族が事故にあうことはとても っらいです。そうならないように 気づかいをしたり、1日を大切に して みんなと しあわせに 過ごしたいです。

命は、たった1つしかなく、とても大事なもので、生きている みんなに あります。自分が もらった「1つだけの命」を、自分で きちんと 守って いきたいです。犯罪は、絶対によくないし、やってもいけないと私は 思います。誰かが 悲しみ、っらい 思いをする 犯罪が なくなり、平和な 生活を送れることを 願って、日々、努力して いきたいです。雄宇也くんのお母さんやご遺族の方が、雄宇也くんの分まで がんばって 生きることを 願っています。

この、「命の大切さ学習教室」をとおして、人の命のありがたみを感じる ことができました。

雄宇也くんのお母さん、今回は 本当に、ありがとうございます。これから、体調にお気をつけて、がんばってください。

学校名

仙北市立 角館 中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

藤原 奏愛 より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。

雄宇也くんのお母さん、家族の大切さ、
命の大切さについて教えていただき、ありが
とうございました。自分には、大切な人が、
たくさんいます。けれど雄宇也くんのようにある日
突然いなくなってしまうと考えると、このままでいいのか
と思います。大切な人に自分はなにができるのか、
なにをしてあげられるのか、そういうことを思いなが
ら普通の会話、いつもの日常を大切にしたいと思っ
ました。ふたん家族とあまり会話をしていなか
たので、学校のことや、友達のことなどを伝
えたいと思いました。今回の話を聞いて、
命の大切さ、家族や友達の大切さを学び
ました。これからも自分の命、家族や友達
の命を大切にしながら生活していきたいです。
命について教えていただきありがとうございました。

学校名

角館中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

千葉 迅翔 より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。

熊谷 雄宇也くんのお母さんへ

先日は 私たちのために命の大切さ学習教室で
お話をしてくださってありがとうございました。
雄宇也くん、そして雄宇也くんのご家族の方々がどんな
に苦しく、悔しい思いをされたかとても伝わりました。
私はお話をきいて身近な人に優しくなろうと思え
ました。今、一緒にいる家族、親戚、友達や学校
のみんなは当たり前のようにいるように見えて、当
り前ではありません。昨日まで笑顔ですごしていたの
に急にいなくなってしまうかもしれません。だからこ
そ一緒にいる人に感謝の気持ちをもって1日1日を
大切に生きようと思いました。そして、雄宇也くんは
明日に希望をもって生きていた人のうちの1人です。
自分が元気にすごせているのは周りの人のおかげと
いうことを忘れずに交通に気をつけて生きたいで
す。たくさん大切なことに気がつかせてくれて
本当にありがとうございました。

学校名

仙北市立角館中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

相木 美穂 より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。

私は今まで「命」について深く考えたことはありませんでした。ある日突然事故にあたり、大切な人を失ったりすることなど、頭にもありませんでした。私たちには関わりがなく、全然知らなかったことでも、被害者本人や遺族の方々にとっては、忘れようとしても忘れられず、月日が経っても色あせることなく鮮明に残っているものなのだと思いました。事故は思いがけず起こり、誰でも起こりうることであると実感しました。熊谷さんのお話を聞いて改めて、事故や犯罪は許されるものではなく、傷つく人は必ずいて、その傷は生涯癒えることはないのだと実感しました。お話を聞いて思わず涙が出ました。これまでの7年間、いろいろなことを経験してきて、これからどんな未来が待っているのだろうと、雄宇也くんをはじめ、ご家族の方々を楽しみだしたんだろうなと考えると、胸の奥にグツときました。ある日の夕方、学校からの帰り道に突然起こってしまった事故。もう本人が戻って来ることはない。それでも、前を向いて、雄宇也くんが生きてくれた「今」を懸命に生きてほしいです。私たちも、自転車を運転したりするときには、今日聞いたことを思い出し、責任を持って日々生活していきたいです。犯罪や事故をゼロにすることは難しくても、1人1人が意識して、お互いを大切にすることで、よりよい社会をつくれるんだとわかりました。お話をしていただき、ありがとうございました。

学校名

仙北市立 角館中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

高橋 美希

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。

手記を読んだり、命の大切さ学習教室に参加したりして、交通事故の怖さを改めて感じました。当たり前にくると思っていた明日が、急になくなってしまう。それが交通事故だと思いました。自分を小学生低学年のときに、交通事故にあつたことがあります。夏休み中に祖母と買い物に行つた帰りに、相手のよそ見運転で衝突されたことがありました。その時は、怪我もなく無事でしたが今日お話をきいて、命に関わることが起きていたらと思うと怖い限りです。命を落とすたくもないし、命を奪うようなことは絶対にしたくありません。「お金で命は買えない。ゲームのようたりせ、人をできない」本当にそうだと思いました。失つた命はもとに戻せない。ので、命の重みを感じて生活したいです。そして、このことは中学生だけでなく高校生や大人になつてもいえることです。自分がハンドルを握るときは、命をあずかっていることを忘れずに、自分を自分の大切な人を悲しませないようにしたいです。そして、関係のない人の命を奪わないように今日のお話を心に刻んでおきたいです。今日は、本当にありがとうございました。

学校名

角館中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

中村 凌磨

より

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。

私はこの話を聞いて、心が痛くなりました。雄宇也さんと何のめんじ
のない私でさえ心が痛く苦しいので遺族の方ばかりと苦しいんだと思いました。
この事故を思い出だけでもつらいと思うのに私達のような中学生や小学生
を対象にこのような教室を行って話してくださることがすごいと思いました。
「自分の命は自分で守る」と今まで教わってきた意味がすごくよく分かりました。
事故に遭ってからでは遅いので毎日毎日気をつけて生きようと思いました。
私は、事故の被害者や加害者にならないためにも自転車の乗り方などを
理解したり横断歩道をわたる時は、右左しっかり確認してわたる。たり
日々の生活で気をつけたいとおもいます。学校に行く時は「いってきます」、
家に帰ってきたからは「ただいま」と言える毎日を通したいです。
家族が悲しまないためにも、絶対に事故に巻き込まない、巻き込まれない
ようにしたいです。今日は、命の大切さや重みが感じられるお話を
してくれてありがとうございます。すごく良い経験になりました。
これから、たくさんの方に命の大切さを伝えてほしいと思いました。
本当にありがとうございました。

学校名

仙北市立角館中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

渡辺 来愛

より